

永代供養墓 円満廟 マイドリー

圓 滿



東寺真言宗
高田山満願寺

円蔵院



アクセス

お車でのご来山

- ・小田原厚木道路 「小田原東 IC」より 5 分
- ・東名高速道路 「大井松田 IC」より 20 分
- ・西湘バイパス 「国府津 IC」 より 5 分

〒250-0216 神奈川県小田原市高田683
TEL 0465-41-2950
FAX 0465-41-2951
東寺真言宗 高田山満願寺 円蔵院

ホームページ <http://www.enzouin.jp/>

円蔵院

検索

満願寺円蔵院とは

1322年鎌倉時代創建の弘法大師空海を宗祖とする真言宗寺院です。本山は京都の教王護国寺 東寺です。

御本尊は『何事をも円満成就する』と伝わる『円満不動尊』。

源頼朝公が政子御前の安産祈願をしたところ、その願いが満たされた事から満願寺号を下賜したと伝わる正に円満成就の寺であります。聖天三福神堂には歡喜天・恵比寿天・大黒天の福德三福神をお祀りしております。

諸祈願・御祈祷・諸供養・行事

各種祈願・御祈祷・地鎮祭・お祓い・ご葬儀・年回忌・水子供養等隨時受付け致します。

春秋彼岸供養会・聖天三福神祭・花まつり・おぼん万灯会・大施餓鬼会等各種行事がございます。

一般墓地分譲中(大小各種区画あります)

円蔵院おまいり十箇条

- 一、寺の近くへ来たらおまいりしましょう。しかし遠回りすることはありません。
- 二、間を見ておまいりしましょう。時間は無いのではなく作りましょう。しかし無理をなさることはできません。
- 三、思い立ったらおまいりしましょう。しかし仕事を放ってくることはいけません。
- 四、心配ごとや頼みごとがあったらおまいりしましょう。しかし欲深いことはいけません。自分自身を正し、ほとけさまにお誓いすることも大切です。
- 五、どうしたらいいかわからなくなったらおまいりしましょう。ほとけさまにお任せし一心に祈りましょう。
- 六、大事な計画や、決断の時にはおまいりしましょう。ほとけさまからお力をいただき、後押ししていただきましょう。
- 七、うれしいことがあったら真っ先におまいりしましょう。ほとけさまも一緒に喜んでくださいます。
- 八、自分の気持ちからすんでおまいりしましょう。命じられて義務的に行くことはよくありません。
- 九、お寺からの案内や、まわりからのすすめがあったらよい機会です。いやがらずおまいりしましょう。
- 十、お寺は法を受け、正しい道を求める大切なところです。おまいりし生きる力を授かりましょう。

円満廟マイトリー

～安心の永代供養～

- 永代供養料には管理料・納骨料・過去帳記載料が含まれます。
- 廟内に骨つぼのまま安置する期間により永代供養料が異なります。
- 年四回(春秋彼岸供養会・おぼん万灯会・大施餓鬼会)の供養を永代にわたり致します。
- お申込者の宗旨・宗派は問いませんが、供養は真言宗の教義に則り行います。
- 檎家になる必要はありません。
- 生前のお申込もお受け致します。
- 俗名のまま埋葬できますが、戒名授与ご希望の場合はご相談下さい。
- すでに他で戒名・法名・法号等授与されていてもそのままお受け致します。
- 本堂用位牌・石版プレート・安置用骨袋等ご希望の方は別途お申込下さい。
- 年回忌法要・個別供養塔婆等ご希望の方は隨時お申込下さい。
- 寺の行事案内をさせて頂きます。参加はご自由ですのでお気軽に参り下さい。
- お申込に際し、ご事情、ご希望等様々あるかと存じます。お気軽にご相談下さい。

男性の優しさ、黒の石は男性の力強さを表わしました。

ピンクの石は女性の優しさ、黒の石は男性の力強さを表わしました。

ネパールのストウーパ

【仏塔】をイメージし

た重厚で莊厳な作

りで、中央と四方

の壁面には、梵字

で密教の重要な

金剛界五仏を配

しております。



見守られています
いつも
仏の慈悲に
「慈悲」の意
サンスクリット語の
マイトリーとは
マイトリーとは
いつまでも



無縁にならないお墓

～お墓のお悩み解消致します～

墓というものは家のシンボル的な意味を持ち、それを一族で守っていくという意識が強くありました。しかし近年の急激な社会情勢の変化、少子高齢化、また非婚率の増加など、人々の生活様式の変化により墓を継承していく基盤が崩れつつあります。「永代供養墓」とは、跡継ぎのおられない方、墓を継承・維持・管理することが困難な方に代わり、寺側で責任を持って永代にわたり供養・管理する墓です。すなわち永遠に無縁にならない墓なのです。今日、先祖供養の形態も多様化されていますが、今なお多くの方が昔ながらの供養を望まれているのが事実です。そのような方々に安心して預けるのが当山の「円満廟マイトリー」です。皆様の心の平安、円満を願い寺側で責任を持って永代にわたりご供養申し上げます。



石版プレート



廟 内 部

骨 袋